いま、ここから、あるきだす。

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 代表 伊藤正俊・中垣内正和 〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301 Tel: 03-5944-5250 Fax: 03-5944-5290

http://www.khj-h.com



#### 第85号発行日平成29年9月10日印

- ▼ KHJ 全国大会 in 東京 (10月28·29日)
- シンポジウム「暴力的支援に陥らない支援を目指
  - 若者と一緒に作って行く家族会
- ▼ 全国 KHJ 支部案内・他

,

ひきこもり問

迎 0

理

解

促進と支援力向

0

0 研

修会

平成29年度

厚生労働

高年齢化を防ぐための家族会からの提案

(7月2日・28日、述ベー80名参加

参加理由は「ひきこ

ない、支援を求めていない

見守りに関する支援モデルの導出~

にまとめられ、KHJ家族 会連合会のウェブサイトに も掲載されています)。 社会的孤立の問題が広が り、本人や家族がひきこも りという言葉を知らないま りという言葉を知らないま

族会連合会が受託し、高年齢 会福祉推進事業をKHJ家今年度も厚生労働省の社

## 28日・29日)

(詳細は3面に記載)

り、

継続や対応が難し 「家族に接するこ

も急に会えなくなった

今まで会えていて

なかなか会えなかった ることとして、「本人と

, '

をめざして~」

当事者 の問題が深刻化する昨今、「ひ からの支援は極めて重要に なると考える。 ひきこもり長期高年齢

きこもり地域支援センター、 参加者アンケートより支援 ポーターら。2日間での 自治体担当者、議員、ひ 家族会ピア

にして誤解されやすいため、た。ひきこもりの心理は、往々 こもり支援の在り方につい て、当事者視点からのひきそれは、当事者団体とし 専門的知識を蓄積してきた。 する有識者とともに、体験的、 唯一のひきこもり家族会と 会」が東京都で開催された。 と支援力向上のための研修 ての先駆的な試みでもあっ 当会は、全国組織を有する 15年間に渡り、 一催する第一 協働 支援のあり方が問われてい域資源と連携した息の長いのように支えていくのか、地 を教材として実施された。 きこもり支援ガイドブック』 を提案した『地域におけるひ る。本研修は、生活困窮者 る現状も多くある。 ひきこもり状態を長引かせ 有識者と共に支援の在り方 自立支援法施行に合わせて、 い問題も複合化し多様化ないでは、親の高齢化に ている。家族だけで抱え込み、 参加者は、社協、 本人を含め家族全体をど で化し多様化し 税の高齢化に伴 をへの支援」に

3面

支援を模索する支援者の声援が届けられれば」と早期

ひきこもり支援に 対する現場の困難

と思った」、「親亡き後、地域ンが取れず、参考にしたいいた方とコミュニケーショたら」、「長期間ひきこもって ない。もっと早い段階で支顕在化するケースは少なく 支援や相談のヒントにでき、よる困窮課題の相談が多く、 相談を受ける機会が増えて50代のひきこもりについて いて、ひきこもり・孤立に 立った。「高齢の親から40代、 トラブルを起こして初めて いる」、「生活困窮者窓口にお て参加したという回答が目 もり相談の増加し 相談の増加、多様化に伴 参加理由として、 支援力の向上にせまられ ひきこも の難しさの声も上がった。 ことが多 発達特性への理解と対応へ アプローチが困難)」など、への支援(興味が限定的で ス」などの家族支援の困難 か」など、そもそものニー プローチしていけばいいの

# ●利用可能な制度や資

嵩じて不安感をあおる関わが知りたい」、「親の心配がや家族会づくりのノウハウ 声が聞かれた。 要性も感じている」という 族会等親に対する支援の必 り方をしている現状に、家 が少ない」、「居場所づくり 出口支援をする社会資源

とは

支援者が困

B難に感じ

あると言える。なお、昨年度、情報の整備と提供が必要で用者目線での効率的な支援 とっては、公的・民間支援困って情報を求める人に などの支援機関情報、地域とっては、公的・民間支援 族会・家族教室」 は、「居場所」 (56・3%) や「家 要な支援として挙がったの 困窮者窓口を対象にした調 (※)において、今後必 ことができた」、「7年かけて支援していけば良いか知る支援、長期的にどのように た部分があったので、時間少しあせって支援をしてい 例から学ぶことができたと基づく話や、さまざまな事 満足度が高かった。 お話を聞いて希望がわいた。 やっと面接ができた、という 「ひきこもり支援は息の長い いう声も多く聞かれた。 講師の長年の実践経験に

からの相談のみ)」、「本相談ニーズがない(親とはできても、本人の

等につなぐためのアプ場合も。病院や保健所

本人や親が困り

(KHJ本部

占

療の受診を拒んでいる人が介入に拒否的」、「医

、「発達障害傾向にある方 る社会的孤立問題(長期化年度のテーマは「潜在化す と生活困窮者の支援窓口を昨年度は、家族会の支部 対応についての調査を継続化したひきこもりの実態や 入・見守り』に関する調査・ することになりました。今 対象に調査を実施しました。 研究事業」です。 マル支援を通した『発見・介 へのフォーマル・インフォー したひきこもり・ニート等)

及び長期高年齢化に至るプその家族への効果的な支援年齢化したひきこもり者とを開発を セス調査・研究事業」 平成28年度厚労省社会

からの抜粋 全体の感想 訪問支援や就労支援、 (アンケート されても使いみちがないでどんなにお金をたくさん残 す。本人が孤立していては、ることに夢中な家族がいま

的な方法を学べたことへの族支援など、実践的、具体 家 見つけられるかの支援こそ もらえるような人を身近に すよ。それより、いかに会 いたい。話したいと思って

支援の実践①、 (1) まりました! 5修(実践編)の継続が決)今年度のひきこもり支援 ページをご覧ください。 お申込み、詳細は当会ホー ひきこもり支援の実践② 2 月 19 ひきこもり

ることに夢中な家族がいまと懸命に財産を残してあげ わせていけるように努力しをかけて相手の価値観に合 いて、「他人に頼れないから ていきたい」。 親亡き後につ

子どもの年齢が50代以上に

~潜在化する社会的孤立状態への発見・介入・ くは、医療機関をはじめとして何らかの窓口に相談しいったん始まった相談や支援が途切れたエピソードも援が途切れたエピソードもされるなど、家族が安定し さが垣間見られました。 応を経験してきた家族の多 にわたりひきこもりへの対 61例が集まりました。長期上でひきこもっている事例 家族会支部からは、 また家族会の会員数分布は 、伴走者を得ることの難し などから窓口につながった の相談は、高齢者支援の機関 の相談は、高齢者支援の機関 いきこもる本人とのコミュ いきこもる本人とのコミュ などから窓口につながった いきこもる本人とのコミュ 年齢になった段階で本人や 家族を見守り続ける仕組み が求められています。 他方、2015年に設置 された生活困窮者の相談窓 口の調査では全国15年に設置 り、対応したことのある年齢 り、対応したことのある年齢 り、対応したことのある年齢 が最多でした。「8050問 題」というように、80代の ではを上げる窓口でひきこもり事 が最多でした。「8050問 族を見守り続ける仕組み齢になった段階で本人やると少なくなり、より高

たん始まった相談が有効な を実施している家族会や困 を実施している家族会や困 を実施している家族会や困 を実施している家族会や困 を接モデルを探し出す調査 を継続していきます。 今年度は一斉の事例検討 っただく家族会支部には直 いただく家族会支部には直 いただく家族会支部には直 から分かりました。このた を継続していきます。 からが調査にご協力 を継続していきます。 **〔愛知教育大学** 

## (北稔)

### NAGAOKA KOKORO CLINIC ながおか心のクリニック

ストレス外来・ひきこもり外来・アルコール予防外来・摂食障害外来

★KHJ長岡フェニックスの会・家族会、居場所、パティオ、 テラコヤ、パソなび、NABA ★断酒ミーティング、外来そく断酒会、外来そくAA

当クリニックは、社会参加を目標にします

〒940-0082 新潟県長岡市千歳1丁目3-42 ながおか心のクリニック 中垣内 正和

TEL: 0258 38 5001 FAX: 0258 38 5002 http://nagakoko.com

# 陥らない支援を目指し

## (フ月29日名古屋)報告 名古屋オレンジの会 山田孝介

と題したシンポジウムが開催されました。 日に名古屋にて「暴力的支援に陥らない支援を目指して」 ジャーナリストの池上正樹さんから、問題提起として以下 て外に連れ出す業者の存在が問題になっています。7月29 ひきこもりの長期高年齢化が大きな課題になっている 暴力を用いて本人を従わせるなど、強引な手法を用い 基調報告では

施設へ強制的に連れていかことをきっかけに、本人が がら軟禁状態を強いられたて殴る蹴るの暴力を受けな 親子喧嘩について相談した 者会見を開いた。会見では、して被害にあった親子が記 こもり支援業者から多額の 契約金をだまし取られたと その後3か月にわたっ

ついて悩んでおり、程度は両親は娘との親子関係に トで見つけた自立支援施設 もあったため、インターネッ 酷くないものの家庭内暴力 う。今できることをやらな 娘さんの将来を買いましょ 相談した。相談員からは

置された状態だった。そうし 施設へ預けることになった。 もらえなかった。連れ戻され 来た今も不眠やフラッシュ 施設から抜け出すことが出 理由に職員から暴力を受け、 た女性は逃げ出したことを 込んだが、両親が施設に預け 施設を抜け出し警察に駆け た環境に耐えられず女性は のは聞いていた支援ではな 円という高額な料金を払 迫られ、3ヶ月で570 バックなどのPTSD症状 たということで相手にして しい支援もなく、ただ単に放 く、食事は一日一食、支援ら 焚きつけられるような形で しかし、そこで目にしたも

くつか印象に残っている点を述べてもらいました。い 場の質疑を交える形で意見 活躍するパネラーから、会 ウムではそれぞれの分野で 支援)は効果があるのか」と「暴力的支援(スパルタ的な を列挙します。 いが、失敗した場合、親を恨いう質問に、うまくいけばい この報告を受け、シンポジ

や保健所、医療との連携方求めることを前提に、警察込まずに外部の助けをすぐ 法について知る事が重要とや保健所、医療との連携方 の意見がありました。 な場合はどうすればいいか」 きいとの指摘がありました。 暴力など緊急の対応が必要 いう質問には、親が抱え

ならず関係団体と連携しマることを前提に自団体のみんな団体であれ暴力が起こめの対策について」は、ど う取り組みが必要との話もにもっと制度を知ってもら の制度で対応できる部分は的支援に頼らなくても既存 たくさんあるとして、家族 ました。またこうした暴力 ニュアルを整備するなどの 対策が必要との意見があり 暴力的支援を生まないた

-成29年5月22日にひき

ければ後悔しますよ」と半ば

見が出ましたが、司会であ、別的支援に関する問題点や う点です。 来ないひきこもりにはどう くが「家から出ることが出 たのは会場からの質問の多 る私自身が最も興味深かっ すればいいか」だったとい ありました。 支援領域の違いもあり、暴

かんがえる対話交流会」(赤い羽根福祉

2年目を迎えた「ひきこもり つながる・

基金助成事業)

ファシリテーター・岡田早苗

養成講座を皮切りに、「つな

5月のファシリテーター

では、対話交流会は未体験と

いう方が多く参加されたの

ファシリテーター養成講座

(5月~9月、9都市で開催)。

ように体験版を実施しまし

会がイメージしやすくなる で、まずは当日の対話交流

た。後半は、ファシリテーショ

上半期がスタートしました かん対話交流会」2年目の

繋がったりと事態を悪化さ だりメンタル的な不調に でした。池上さんから報告疲れ果て頼るケースばかり解決が見いだせない現状に 設でまともな支援がなされがあった事例では実際に施 家族を何組か知っています去にこうした団体を頼った どではないでしょうか。過 が行われているのを知って中にはそうした暴力的支援 把握していませんでしたが、 ていなかったことを両親は が、手荒な手法と知りながら、 るのは両親や身内がほとん もこういった施設へ依頼す どのような事例であって

認識する必要があると思 頼る家族が多くいることを、 つかむ思いで悪質な業者に 不安のなかで孤立し、藁をも 陥る背景には、先の見えない あるはずです。暴力的支援に

くつも見られました。 安を抱えた家族の感想がい ドバイスが欲しい」など不 活設計に関しての具体的ア いる兄弟がいるが、どう対 応したらいいか分からない」 ンケートでは「ひきこもって 親の高齢化による今後の生 シンポジウムに関するア 出来ます。

族が頼らなくてもいい社会こと」など暴力的支援に家 どの地域資源が声を上げる 域連携の重要性」、「家族会な 会資源が必要」との意見や「地 題で相談することが難しいそのうえで「何らかの問 家族、当事者を支援する社

度をうまく利用し、どういっ想も多かったことから、制聞けて良かった」という感 のかを知らないまま家族がた方法を取ることが出来る いる現状を垣間見ることが問題を抱え込んでしまって 者機関の介入、連携の話を 容も多く見られました。 など聞けてよかった」「第三 庭内暴力など)の支援介入 また「困難なケース(家 け止め、ひきこもる本人と こうした家族の不安を受

おいて、高年齢化したひき КHJの28年度の調査に の問題解決にはなりません。 家族を減らさない限り、真 ましたが、 仕組み」という記事もありは「悪質業者に対する監査の する翌日の新聞報道の中に今回のシンポジウムに関 めても、実際に困っている いくら規制を強

在り方に期待を寄せる内 けられない、まさに制度の祉制度のバックアップも受医療でもカバーしきれず、福 リングを行いましたが、家こもりを支える家族のヒア 族はただ黙って事態を静観 まだ多いと思います。 狭間に置かれた家族はまだ いた事例が半数以上でした。 くつかの相談窓口を訪ねて していたわけではなく、い

家族支援の充実とともに、各 こもり状態が長期化し疲弊 活できるよう支援していか責め合う関係にならずに生 地域の家族会が、受け皿と なければなりません。ひき する家族を支えるためには、 家族が孤立したり、互いに してしっかり役割を果たす

# Ĥ

部長会議開

は実践J

ロタの活動の コタの活動の

20分。支部長会議、13時30分時00分まで開催された(総会 東京都港区の港勤労福祉会館 6月25日日、KHJ通常総 ガ~17時30分)。 云、12時30分~13時 17年30分より17 会と支部長会議が、

・「参加支部からの1分間挨いるかどうか、ひとつひといるかどうか、ひとつひといは実践に向かって動いてで実践できているか、ある

認を経て、藤岡理事が議長に理事を議長に推薦。全員の承 長が開会を宣言し、 就任。伊藤理事長より報告事 定刻になり、伊藤正俊理事 藤岡清人

入り、(1)「平成28年度事業 一位と、山本洋見氏の理事就任 が告げられた。次いで、藤が告げられた。次いで、藤

より月例会、学習会、居場学におこなった。多くの支部でれの支部の活動紹介を簡

では、当日会議に出席し

報告承認の件」、(2)

平成

所の報告があり、支部によっより月例会、学習会、居場

関との連携の報告があった。ては地域での行政、支援機

また、発足して間もない支部

、(4)「平成29年度収29年度事業計画案承認

全

う運営の方向を日々模索し

からは、

充実した会になるよ



支部長会議

確保の難しさ、運営資金面役員の高齢化、活動拠点のきたいという今後の展望や、きたいという今後の展望や、発達障害や高年

での苦労なども聞かれた。

も盛会となりました。また、 ご協力のおかげで、どの会 続き有志による2回目の対 山梨と茨城でも、1年目に

本人やご家族の本音が聞け援者の方々にとっては、ご つながることが期待されまやよりよい支援の在り方に り合うことで、新しい動き 想いや本音をフラットに語 ひきこもりご本人や経験者、 数が段々と増えていったり、 です。またインターネット お越しいただけました。支 が、ほぼ三つの属性の方にす。地域差は多少あります 地域の支援者が、お互いの 話交流会が開かれました。 本人・経験者もいらっしゃ で情報を得て参加されたご たことが大収穫だったそう 対話交流会では、ご家族、 がると思います。のエンパワーメントにつな けとめることが、お子さん 子さんの価値観を徐々に受

催当日までの過ごし方等に

て経験される方々は、対話を 験し今後の見通しもつき、

いて話し合いました。初め

各会約30名~50名近い参加

福井 (8/20現在) にて、

台から青森、福島、宇都宮、

少し安心されたようでした。

対話交流会は、6月の仙

れて対話を行いました。各 者とともに、テーマに分か

支部のみなさまの多大なる

に集まり、メンバー紹介、開ンの講義の後、開催地域ごと

ると感じました。 が一つの居場所になってい 方がいたりと、 と夜遅くまで語り明かした

異なる価値観を受けとめる く異なります。対話交流会で、 化が激しく、価値観が大きお子さんとでは、時代の変 それらを受けとめる人の存 す。他者から異なる価値観しい答えを見つけるもので 自分なりに考えて、そして新だけではなく、受け取って、 なる価値観や想いを、聞く 在が大切です。親御さんと や想いを出してもらうには、 いてお話したいと思いま 私が考える対話の効能に 習を存分にして頂き、 対話とは、自分とは異

対話交流会 · (全)

をご報告する。

山形」で出された「大会宣 開催の「KHJ全国大会in 関化の「KHJ全国大会in では、平成28年度 体験版を開きます。地元で国大会2日目の分科会でもた10月に東京で開催する全国を中心に開催します。ま の内容について、それが「で出された「大会宣

対話交流会や全国大会へ足がある方は、ぜひお近くの開催してみたい方や、関心



をお運びください。

うにしています。ひと肌が 葉はできるだけ使わないよ タカナ言葉や難しい専門言 参加いただきました。「カ

で関わってくださいまし りの人間」としての目線 さいました。 う目線から、同じ「ひと きこもり施策を伝えて下 りやすい言葉で、国のひ 日野さんは、 ひきこもりピアサ 官僚とい

が異動になられました。 渡って当家族会を温かく見 2013年から、4年間 守ってくださった日野さん 全国大会には、福岡、 香川、山形と、毎年ご

ています」。日野さんは、 さんと話したいとおもっ 感じられる言葉で、みな いつも誰にでも届くわか

とうございました! みんなから愛された日

## という報告があった。 ・「KHJブロック構成につ まったという例も見られた、

いての提案」では、各ブロッ NPO法人楽の会リーラ事務局長 乙允さんインタビュー

までの蓄積を補いあいなが
KHJと相談窓口とがこれ

ク内で支部同士の連携を強

化できるとよいのではな

かという考えから、KHJの

が行ってきたことでもあり、 れ、「これらはKHJ が挙ったことが述べら



理事より提案があった。提案

ブロック構成について藤岡

の内容は、支部数が多いブ

市川乙允さん

協同運営という形をとって 務局長の市川さんは、これ 長でもある楽の会リーラ事 います。大会共同実行委員 今年の「全国大会・山東京」 親世代と若者世代との え合い協同していもだめ、お互い支 かなければならな 親だけでもだめ、子だけで の団体を作りました。しか

しそれをやっていくうちに、

の協同が大切と語ります。 (聞き手 KHJ本部

いな、ということ

になって、今から

行っても適切な対応がなく、

野さん、

がとうございました!

だひきこもりに対する知識

どであったが、これについて

こと、その理由の一つとして、 例が全体の半分ほどあった が途切れてしまったという

ク長を立てる、ブロック長は 定める、各ブロックにブロッ 部の担当範囲(担当地域)を

KHJ代表の候補とするな

高年齢化事例の調査につい 所感が語られた。また、長期 いかと思う」という川北氏の ら連携していけるのではな

なんらかの理由で支援

を分割する、ブロック内で支ロックはさらにブロック内

の声に耳を傾 ラ」となりました。

うだけでも心強いです。 福祉基盤課でも、希望の持きました。異動になられた のご活躍を心からお祈りし が居てくださっているとい てる福祉づくりに日野さん で、本音で関わっていただ 時間をいただきました。いつ フへの勉強会など、いろんな の交流や懇談、事務局スタッ 本の明るい未来に向け、益々 も分け隔てなく、ひと対ひと 家族のみならず、青年と

しを貰っていました。 ております。

そのお人柄に、いつのまに んと話すうちに、穏やかなけて下さいました。日野さ か家族も本人も安心と励ま

をめざして~」。チラシにあ ろう~生き方の多様性を認 は「地球」です。 る大会のイメージイラスト められる明日 (地域社会) 国大会のテーマは「つなが 笑っているひと、怒って 今年で12回目を迎える全 KHJ全国大会に東京 つながろう~生き方の多様性を認められる明日 めざして~」。

ます。

いう「多様性」を描いてい

ひとが共存している・・・と

踏み出すために、多様な生

き方を認め合う明日(地域

(事前申込制:10月16日締切)を

10月28日29日

開催!!

がり」

は、私たちが生きる

·である「つな

めに私たちは何ができるか、 社会)があること、そのた

上で最も大切な希望になる

考えていきたいと思います。 参加者のみなさんと一緒に

また、2日目の分科会交

い人達の研ぎすまされた感れば動かないであろう。若 だけではなく、若い人の感覚 や力を中心にしていかなけ れからは僕ら親世代の感覚

ひとがこの地球上にいて、 考えているひと、いろんな いるひと、泣いているひと、

いろんな思いが出会ったり、

に、自分らしくいられる場所 少しでもこの地球のどこか 践者とともに、大会を通じて、 そこに携わるさまざまな実 として、親、本人、兄弟姉妹、 と考えます。当事者家族会

交流し合う8つのテーマで

ページからダウン ださい!(申込書

めるとともに、今の思いを多様なニーズへの理解を深

て、親、本人、兄弟姉妹の流会も、当事者家族会とし

その数年後に、ひきこもり ンター・リーラ」という別 「NPO法人社会参加支援セ の本人たちを支援する団体 会としてスタートしました。 に「楽の会」という親の自助 会は、親世代と子世代の協今回東京で開催する全国大 えなければいけないのでは覚をもっと活かす方法を考 同運営という形をとったん ないか。そういう背景があり、

事だと思うのは、親世代は黒 やっていく上で僕が一番大 親世代と子世代 い世代。それ面して活躍し 子に徹すると いうこと。企

五年ほど前に二つを統合 て「NPO法人 楽の会リー 家族会ではあるけれど、こ ろは若い世代に任せて、彼段もそうです。任せるとこ世代。全国大会に限らず普 をバックアップするのが親

ろ、面倒なところは親世代理や登記など事務的なとこ

がもっと関わってくれると あるので、これから若い人

(KHJ東 東京支部長) いいと思っています。

に入ってもらい全面的に任 楽の会リーラではカフェ

も任せています。ほかにも フェで行うイベントの企画 場所スタッフでもある。カ フェスタッフというのは居 は居場所でもあるので、カ 月に一度開催している居場 スタッフとして入っている。 があり、そこも若い人が

談会というのは会の核でも 関わってくれています。相 人がピアサポーターとして グループ相談会でも、若い 親世代、 という経緯があり、若い人 このうちカフェは、若者の もそういった仕事を少しず 活躍できる場として作った カウンセラーによるグルー プ相談会、月例会があります。 は、コミュニティーカフェ、 楽の会リーラの主な事業 覚えていってもらえると 感覚、企画を取り入れ、ど が対象ですが、若い世代の います。月例会は親御さん 若い世代も関わってくれて 割親世代が行っていますが、

・ 対話形式にするかなど、意なゲストを呼ぶか、聴講かんな月例会にするか、どん 見を出してもらっています。対話形式にするかなど、意

たのですが、参加人数は一て月例会参加費を値上げしいます。実際、必要があっ 例会の内容は変わってきて以前と比べるとずいぶん月

親御さんのニーズにも合っ ているときもある。若い人定数を保っているし、増え ているということなのでは の意見も取り入れた運営が、

もらう。役割分担を言えば、 親世代のノウハウを伝えな ないかと思います。 族会にしていけたらと思 て活躍をする。そういう家 若者を支える役割をする。 親世代は縁の下の力持ちで がら、若い世代に活躍して 子世代協同で、

201*7* 10.29 9:00~18:00

#### 催 内

第1日目 10月28日(土曜日) ○行政説明 「国におけるひきこもり施策」

○基調講演 「KHJ のこれまでの歩みとこれからの展望」 ○全体シンポジウム 「多様な生き方を認め合う明日(地域社会づくり)のために私たちは何をしたいのか」

コーディネーター: 穴澤義晴(JYC フォーラム若者支援全国協同連絡会事務局長) シンポジスト 林 恭子(ひきこもりUX会議主宰)、下田つきゆび(KHJ高知県やいろ鳥の会、 つきゆび倶楽部主宰)、市川 乙允 (全国大会 in 東京実行委員長 NPO 法人楽の 会リーラ事務局長)、勝部 麗子 (豊中市社会福祉協議会コミュニティソーシャ ルワーカー)、山﨑 正雄 (高知県立 精神保健福祉センター所長)、徳丸 享 (立

#### 正大学心理学部准教授 東京臨床心理士会会長) 第2日目 10月29日(日曜日)

○テーマ別分科会交流会(8テーマ・3セッション)「当事者発信(ひきこもり 大学 本人版)」「家族発信(ひきこもり大学 家族版)」「長期高年齢化を考える~ 青年期から壮年期の支援のあり方」「発達障害」「地域連携」「ピアサポート」「居 場所・中間的就労」「兄弟姉妹の会」



## 特定非営利活動法人から・ころセンター

不登校やひきこもりで悩んでいるご本人とご家族の方々に 寄り添う活動をしています。

生涯にわたる支援ネットワークの構築を目指しています。

**★から・ころセンター 代表 伊藤正俊** 

〒992-0026 山形県米沢市東 2 丁目 8-116 TEL:0238-21-6436 FAX:0238-27-1303 E-mail:info@npo-karakoro.com

### 就労継続支援B型事業所

★ワークから・ころ

〒992-1127 米沢市万世町牛森 4150-6 青空みるくセンター2F TEL:0238-40-8457 FAX:0238-40-8458

**★キッチンから・ころ** 〒992-1128 山形県米沢市八幡原 5 丁目 4149-8 テクノセンター内 TEL · FAX: 0238-28-2527

第5回

徳島大学大学院社会産業理工学研究部

るであろうデメリットについもり当事者自身もわかっていすだろうか? 特に、ひきこ

どんなデメリットをもたら

い行動をしていない状態になから出てこない」は、望まし「家族と会話をしない」「部屋 の望ましくない行動への対応の望ましくない行動への対応 とは何かを理解しましょう。まずは、望ましくない行動 ことです。つまり、「働かない」いうのは行動ではないという ひきこもり当事者の望ましく 方法について紹介します が、「働かない一「家族とない行動としてよく耳にする まず、

しょうか? 望ましくない行望ましくない行動とは何ででは、ひきこもり当事者の を増していくのです。現在行っている望ましい行動少しでも近づけるように、今かない」場合は、働くことに 望ましい行動を増やすかかわ り方が効果的です。つまり、「働 前回までにしてきた、 こっているだろうか? ことを行って ましょう。 こもり当事者にどんなメリッ・その行動をすることでひき いきます。

いては、前回までにしてきない行動をしていない状態に

いう望まり

こらない状況作りを心がけるある場合、そうした行動が起まず、望ましくない行動が 対応方法について考えていきついて理解したうえで、そのでは、望ましくない行動に 事者も納得できるルールを設動に関しては、ひきこもり当ります。ですので、趣味的活を豊かにしてくれるものにな トについて、以下に紹介しまこるのかを考える際のポイン望ましくない行動がなぜ起 る、②望ましくない行動がな家庭内の雰囲気を穏やかにすまで紹介してきたように、① ことです。その為には、これ しているのだろうか?・どんな気持ちでその行動を ぜ起こるのかを考えるという 定するのが効果的です。 どんな状況でその行動は起 望ましくない行動を特定す 望ましくない行動を減らす をどのように活用していくか次回は、見つかったヒント について紹介します。 て考えてみよう。 ントがたくさん見つかります。 じっくり考えてみることで、 こうしたポイントについ

費程度の低価格でNPO法人 elder.jp/public/doc/ ランティア活動(社会福祉、環日本国内での非営利活動やボ 利組織)、障害者手帳を有する 全、高齢者福祉、社会教育、国際 手帳を持っている個人に提供 場で処理し、正規のWinb. Windows DPro ·PCの使用目的: 交流のような非営利活動をさ JRL: http://www.e-を参照してください。 りますので、詳しいことはHP そのほかにも使用条件等があ 申請手続き:申請書と付属添 「配送費は各団体負担) ンアップロVロ・ROM無し。 を搭載して15000円。バッ 3B usiness 2010 およびOffice Hone 国際交流のような活動)。 境保全、高齢者福祉、社会教育、 れている任意団体を含む非営 非営利団体(社会福祉**、** する社会貢献プログラム。 などの非営利団体及び障害者 にノートパソコンを再生工 NPO法人寄贈プログラム」 寄贈対象団体: 実施団体:NPO法人イー イー・エルダー リユース 寄贈価格:上記非営利団体向 企業等で利用され 、環境保

#### 月例会に参加して気持ちを楽にしたり情報交換しませんか

☆家族会(月例会)問い合わせ先:KHJ全国ひきこもり家族会連合会【本部事務局】 〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301 ☎ 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 E-mail: info@khj-h.com

「ゲーム」「パソコン」とい動の代表例は、「暴言」「暴力

0

. 「暴言」「暴力」

があるのだろうか?

酒」「窃盗」などがあります。たものです。少数例として、「お

#### 北海道・東北ブロック

に悪いものではありません。といった趣味的活動は、一概「ゲーム」「パソコン」「お酒」望ましくない行動の中でも、

を守って行っていれば、生こうした趣味的活動はルー

定的であることが分かると思いるように「○○する」といったものが望ましくない行動がかなり限いると、ひきこもり当事者の要があります。このことが分要があります。このことが分をと、まず理解する必要があります。

▶ 不登校・ひきこもりの方も安心 ◀

KHJ 北海道「はまなす」(北郷 恵美子)

〒 064-0824 北海道札幌市中央区北四条西 26-3-2

☎ &Fax 011-631-0981(田中敦) ☎ 090-3890-7048(田中敦)

15 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

KHJ 青森県「さくらの会」(下山 洋雄) 🕿 090-8613-5561

〒 030-0844 青森県青森市桂木 3-25-10 Fax 017-723-1754

NPO 法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会 泉勝夫) 〒 020-0873 岩手県盛岡市松尾町 19-8

☎ 019-605-8632 Fax 019-605-8633

KHJ いわて石わりの会 (佐々木善仁(代理))

〒 029-2208 岩手県陸前高田市広田町字前花貝 80-21

☎ 080-1830-9046 Fax 019-<u>613-4516</u>

NPO 法人 KHJ 宮城県「タオ」(武田和浩)

〒 987-2183 宮城県栗原市高清水袖山 62-18

**☎** 0228-58-4755 Fax 0228-58-4756 **☎** 080-3193-6715

KHJ 石巻まきっこの会 ( 高橋優麿 ) ☎ 080-6022-4478 〒 987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字江合 1-3-2

KHJ 秋田ばっけの会(菅原) ☎ 090-6688-5216

〒 010-0201 秋田県潟上市天王字上狼縁 36-130

NPO 法人から・ころセンター (伊藤 正俊)

〒 992-0026 山形県米沢市東 2-8-116 ☎ &Fax 0238-21-6436

認定 NPO 法人山形県「発達支援研究センター」(髙橋信子)

〒 990-0035 山形県山形市小荷駄町 2-7 SUNまち

☎ 023-623-6622 Fax 023-622-7003

KHJ 福島県花ももの会 (千葉桂子)

〒 960-8066 福島県福島市矢剣町 22-5 NPO 法人ビーンズふくしま

内 **2** 024-563-6255 Fax 024-563-6233

KHJ 茨城県ひばりの会(荒井俊)

〒 271-0063 千葉県松戸市北松戸 1-1-14 ユーカリハイツ 704 号室

☎ 047-364-7332 Fax 047-362-4065

NPO 法人 KHJ とちぎ「ベリー会」(齋藤 三枝子)

〒 320-0032 栃木県宇都宮市昭和 2-3-5 ☎ &Fax 028-627-6200

KHJ 群馬県はるかぜの会 ( 榎本明 ) ☎ 080-3727-8726

〒 370-0126 群馬県伊勢崎市境下武士 2551-1

NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会 (田口ゆりえ)

〒 331-0805 埼玉県さいたま市北区盆栽町 190-3

☎ &Fax 048-651-7353 ☎ 080-3176-6674

NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会 (藤江 幹子)

〒 267-0055 千葉県千葉市緑区越智町 1701-

☎ 070-2191-4888 Fax 043-294-7629

KHJ 西東京「萌の会」(須賀 啓二) Fax 03-3883-2358

〒 121-0064 東京都足立区保木間 2-8-13 萌の会方

グループコスモス (田中 好和) ☎ 03-3298-8324

〒 143-0012 東京都大田区大森東 3-5-9

NPO 法人楽の会リーラ (市川 乙允) ☎ &Fax 03-5944-5730

〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12 第二塚本ビル 202

KHJ 町田家族会(上野 亨二) ☎ & Fax 042-810-3553

〒 195-0063 東京都町田市野津田町 3577-3

KHI 神奈川県「虹の会」(安田 賢二)

〒 221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 12 階 ボラン ティアセンター方 No. ② **☎** 080-2107-1171

KHJ 横浜ばらの会 (鈴木 恵美子)

〒 232-0002 神奈川県横浜市南区三春台 139-18

☎ &Fax 045-253-3107

KHJ 山梨県桃の会 (篠原 博子 ) ☎ &Fax 0554-66-4073

〒 409-0126 山梨県上野原市コモアしおつ 1-4-3 ☎ 090-6190-8677

KHJ 長野県らい鳥の会 (唐澤 秀明) ☎ 080-3433-4904

〒 396-0026 長野県伊那市西町 6022-3 城南町市営住宅 C210

KHJ 長岡フェニックスの会 (大矢哲裕)

〒 940-0082 新潟県長岡市千歳 1-3-42 ながおか心のクリニック内

☎ 0258-38-5001 Fax 0258-38-5002

NPO 法人 KHJ にいがた「秋桜の会」(三膳 克弥)

〒 950-0167 新潟県新潟市江南区五月町 1-2-9

☎ 090-8873-4453 ☎ &Fax 025-382-6912

KHJ はぁとぴあ家族会(高和 洋子) 〒 933-0341 富山県射水市三ヶ伊勢領 2467-2F 支援センターフレン

ズ ☎ 090-2035-3116 ☎ &Fax 0766-86-3891

とやま大地の会(島田 朋子) ☎ 080-3746-2204 〒 939-8044 富山県富山市太田南町 179-8

KHJ 北陸会(所田 澄子) ☎ & Fax 076-252-4856

〒 920-0813 石川県金沢市御所町丑 57

KHJ 石川県南加賀支部「いまここ親の会」(大久保 卓)

〒 922-0112 石川県加賀市山中温泉西桂木町ヌ 26 たんぽぽの家 ☎ 070-5633-2667

KHJ 福井すいせんの会(近藤 茂樹)

〒 918-8057 福井県福井市加茂河原 1-5-10

☎ 090-9442-5859 ☎ & Fax 0776-34-1470

#### 東海ブロック

KHJ 岐阜県「岐阜オレンジの会」(水谷 理恵) ☎ & Fax 052-459-5116

〒 453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町 19-7 チサンマンション椿町 304

KHJ 静岡県「いっぷく会」(中村 彰男)

〒 422-8017 静岡県静岡市駿河区大谷 3800-190

☎ 054-238-0219 Fax 054-238-0247 ☎ 090-3952-5810

NPO 法人てくてく (山本 洋見)☎ 090-1416-6224

〒 432-8054 静岡県浜松市南区田尻町 208-2 ☎ 053-442-6365

豊田・大地の会 (土田 芳次) ☎ 0565-21-0177

〒 470-1211 愛知県豊田市畝部東町上梅ノ木 12

KHJ 東海 NPO 法人なでしこの会 (田中 義和)

〒 467-0825 愛知県名古屋市瑞穂区柳ヶ枝 1-22-7

☎ 090-4195-2674 ☎ & Fax 052-882-1119

NPO 法人 オレンジの会 (山田 孝介) ☎ &Fax 052-459-5116 〒 453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町 19-7 チサンマンション椿町 304

KHJ 三重県「みえオレンジの会」(中島 久智)

〒 513-0801 三重県鈴鹿市神戸 6-6-28 ☎ 090-6469-5783(堀部)

#### 近畿ブロック

生存協同組合京都・ライフアート(町田 弘樹)

〒605-0037 京都府京都市東山区三条通白川橋東入二丁目西町151 ライフアート ☎ 075-751-7276

NPO 法人大阪虹の会 (前川 実) ☎ & Fax 072-265-2021

〒 592-0011 大阪府高石市加茂 1-13-26

NPO 法人 KHJ「つばさの会大阪」(大塚 洋)

〒 573-0027 大阪府枚方市大垣内町 1-3-1 マインドビル 4F

**☎** 090-4308-4259 **☎** 072-844-2423 KHI 情報センターふきのとう姫路( 櫛橋 行雄)

〒 670-0896 兵庫県姫路市上大野 1-11-6

☎ & Fax 079-224-5259

兵庫県宍粟支部ひまわりの家家族会(松本 むつみ) 〒 671-2552 兵庫県宍粟市山崎町段 194-1 ☎ 0790-65-9205

#### 私たちの会を応援してくださる 賛助会員を募集しています

当会では、ひきこもりを抱えたご家族が孤立しないよう。 全国の家族会と連携し、行政に働きかけながら、よりよい 支援の実現を目指しています。その活動資金の多くは、皆 様からの温かいご支援で成り立っております。是非、私た ちの会にご協力をお願いできれば幸いです。お振込先

ゆうちょ銀行:支店名(他金融機関からの場合) ○一九(ゼロイ チキュウ)

口座記号 00110-6

口座番号 708246

加入者名:NPO 法人 KHJ 家族会連合会 KHJ 奈良県わかくさの会 ( 須知 晴美 ) ☎ 090-2040-3339

〒 610-0361 京都府京田辺市河原東久保田 3-12-405

KHJ 鳥取県らくだ会 (田中 隆雄) ☎ 090-4653-2554

〒 680-0074 鳥取県鳥取市卯垣 5-60-F-4

NPO 法人 KHJ 岡山きびの会 (川島)

〒 708-0821 岡山県津山市野介代 526-30 ☎ 090-7541-5263 Fax 0868-23-3294

KHJ 広島もみじの会(藤岡 清人)

〒 733-0002 広島県広島市西区楠木町 1-8-11 (NPO 法人 CROSS 内)

☎ 082-942-3160 Fax 082-942-3162

KHJ 福山「ばらの会」(中村 友紀) ☎ 090-4655-3358 〒 720-0031 広島県福山市西町 1-1-1 リム・ふくやま 9 階

KHJ 山口県「きらら会」(上田 十太) ☎ &Fax 0837-22-5495

#### 〒 759-4102 山口県長門市西深川 2850-3

KHJ 徳島県つばめの会(高橋 浩爾) 〒 770-0847 徳島県徳島市幸町 3-33 徳島インマヌエル教会内 ☎

090-1325-2740  $\triangle$  &Fax 0883-24-0507

NPO 法人 KHJ 香川県オリーブの会

〒 760-0043 香川県高松市今新町 4-20 ☎ 087-802-2568

KHJ 愛媛県こまどりの会(武田 邦寛) 〒 791-8012 愛媛県松山市姫原 2-7-33 サントノーレ姫原 505

☎ 090-7578-4214 Fax 089-923-3367

KHJ 高知県親の会「やいろ鳥」の会(坂本 勲)

〒 781-8131 高知県高知市一宮しなね 1-14-10-1

☎ 090-3184-8109 Fax 088-862-0740 九州・沖縄ブロック

KHJ 福岡県「楠の会」(吉村 文恵)

〒 810-0016 福岡県福岡市中央区平和 3-13-6-104 亀田洋方 8222-7403 Fax 092-731-3091

NPO 法人熊本ブランチ (武井 敬蔵) ☎ 096-322-3548

〒 860-0072 熊本県熊本市花園 7-2435-12 Fax 096-322-3787

NPO 法人 KHJ 大分県「大分ステップの会」(松本 太郎)

〒 879-5102 大分県由布市湯布院町川上 3604-14

☎ 090-1163-8582 ☎ & Fax 0977-84-4310 KHJ みやざき「楠の会」(植田 美紀子)

〒 880-0944 宮崎県宮崎市江南 4-9-9 植田方

☎ 090-9603-8780 ☎ & Fax 0985-53-2666

KHJ 鹿児島県「楠の会」(吉留 純隆) ☎ 090-4988-6961

〒 896-0078 鹿児島県いちき串木野市生福 10504-3 KHJ 沖縄「てぃんさぐぬ花の会」(平良 玲奈) ☎ 070-5277-2036 〒 900-0004 沖縄県那覇市銘苅 2-3-1 なは市民活動支援センター

KHJ 石垣島ピパーチの会 (伊良皆)

〒 907-0022 沖縄県石垣市大川 213-1 3F ☎ &Fax 0980-87-0146